

令和5年度の まちづくり

第1回市議会定例会で、青山市長が令和5年度のまちづくりと予算編成の考え方を説明しました。その概要と主な内容をお知らせします。
※2～4ページに掲載している予算は、第1回市議会定例会に提案された内容です。

1 安心できるまちづくり



人口減少対策

創業を支援し、定住促進・雇用創出

市内の空き地や空き店舗などを活用して創業する事業主に対し、店舗の改修費や新築工事費などを支援します。

2,290万円

結婚・出産に伴う新生活を応援

ライフスタイルの大きな変化となる結婚や出産をきっかけに市内に転居する（市内間を含む）世帯に、家賃などを助成します。

1,368万円

子育て・教育環境の充実

私立保育所整備費の助成

楽山保育園の移転整備費を助成します。

1億7,489万円

オンライン学習等通信費の助成

準要保護世帯や特別支援教育世帯に対し、オンライン学習などに関わる通信費を支給します。

640万円

スクール児童館の整備

スクール児童館の専用スペースを拡大し、環境改善を図ります。（みなと・地球岬・海陽・天神小学校）

2,151万円

物価上昇に伴う学校給食費への対応

食材の価格上昇による学校給食費の単価改定（引き上げ）を1年見送り、公費で負担することで、保護者の負担軽減を図ります。

2,410万円

出産・子育て支援の充実

妊婦や低年齢期子育て世帯が安心して出産・育児ができるよう、「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施します。面談やアンケート回答などを行うことで、妊婦1人当たり5万円、子ども1人当たり5万円を電子マネーなどで給付します。

2,241万円



災害に強いまちづくり

津波発生時の避難行動や日常生活での意識向上のため、市内各所に浸水深を表示した看板を設置します。

また、新たに潜在的水害リスクのある浸水想定区域の対象河川に指定された、鷺別川とチマイベツ川、ペトル川のハザードマップを作成し、対象地区へ配布します。

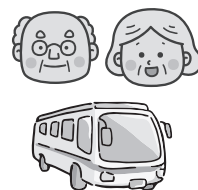
933万円

高齢者の外出支援

満70歳以上の市民を対象に、市内バス停留所間での乗降に限り1回100円で利用できるワンコインバスと、室蘭市・登別市・伊達市（大滝区を除く）の3市間を自由に乗降できるふれあいバスを発行します。

※ワンコインバスは、令和2年度からの実証結果を踏まえ、バス有効期限を1年から6か月に変更し、利用者負担を段階的に引き上げます。

4,016万円



重度心身障害者の交通費助成

心身に重度の障がいのある人が、通院や会合などで外出するために利用するタクシー料金を助成します。1回の乗車で、複数枚のタクシーチケットの使用を可能にします。

305万円

西いぶり消防指令センター整備

（令和7年度運用開始予定）

2,942万円



2 ものづくりのまちが挑む北の先端産業都市づくり

脱炭素社会の推進や新エネルギー創出に向けた取り組み

令和32年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指し、ゼロカーボンシティの意識向上に向けた啓発イベントやセミナーを開催するほか、市内小学校への出前授業などを実施します。

また、公共施設の既存照明をLED照明に切り替えることで、温室効果ガスの排出および電気使用料の削減を図ります。

7,760万円

3 潤いある観光・文化・スポーツ振興

室蘭岳山麓総合公園の魅力アップ

キャンプ場の本格実施に向けて、引き続き民間事業者との実証事業を継続するほか、炊事場などを整備します。

2,494万円

縄文文化の普及啓発

縄文文化への関心や理解を深めるため、旧絵鞆小学校を活用し、土器や石器の収蔵品などの展示公開や模擬発掘体験を実施します。

158万円

スポーツ環境の充実

(仮称) 入江運動公園テニスコート整備

(令和6年度供用開始予定)

5億5,450万円



入江運動公園陸上競技場改修

第2種公認の継続に向け、トラックやフィールドの芝生などの改修を行います。

6億3,769万円

4 世界に貢献する港づくり

祝津埠頭の老朽化対策と客船対応に向けた整備

岸壁整備や絵鞆臨海公園へのアクセス通路整備を行います。

2億2,471万円



5 将来を見据えた公共施設整備と行財政改革

中島公園民間活力導入可能性調査

民間事業者による、魅力向上に向けた事業導入の可能性について調査を行います。

1,066万円

ネーミングライツの推進

新たに、祝津公園サッカー場や水族館などにネーミングライツを導入します。

歳入839万円

公園施設に関わる長寿命化計画の策定

現計画を更新し、公園遊具を対象とした「長寿命化計画」を策定します。

1,000万円

令和5年度の市長説明の全文は、市ホームページに掲載しています。
《詳細》企画課 ☎25-2181



令和5年度の予算



《詳細》財政課 ☎25-2268

一般会計 福祉や教育、道路整備など、市の基本となる事業の会計です。

461億9,600万円

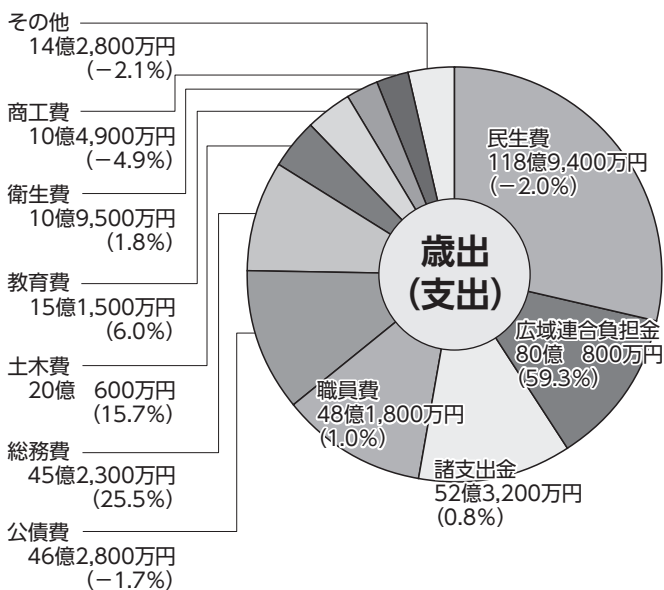
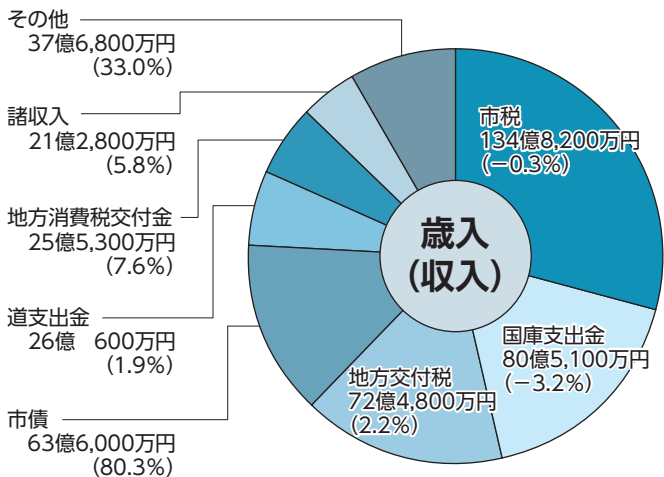
(9.4%)

一般会計の予算額は、前年度と比べ9.4パーセント、39億6,100万円の増となりました。歳出では、廃棄物中間処理施設の建設や光熱費の高騰などにより増額となり、それに伴い、歳入では市債や基金繰り入れが増額となっています。

主な用語の説明

- 市税** 市民税、固定資産税、たばこ税などで、市の予算を支える最も重要な収入
- 国庫支出金** 国が市に対して、用途を特定して交付する補助金など
- 地方交付税** 自治体の財政力に応じて国から交付される収入。用途は特定されない
- 市債** 建設事業などのための長期借入金
- 道支出金** 道が市に対して、用途を特定して交付する補助金など
- 諸収入** どの収入項目にも属さない収入。預金利子、貸付金元利収入、学校給食費など
- その他** 法人事業税交付金などの各種交付金や土地売却収入など

- 民生費** 高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、生活保護などに関する経費
- 広域連合負担金** ごみ処理や電算業務を共同で行っている西いぶり広域連合と北海道後期高齢者医療広域連合への負担金
- 諸支出金** 特別会計への繰出金、企業会計への負担金や補助金など
- 職員費** 職員の給料・諸手当など
- 公債費** 建設事業などに借り入れた長期借入金の元金・利子と一時借入金の利子など
- 総務費** 公共建築物の維持補修費や工事費のほか、災害対策、市民活動などに関する経費
- 土木費** 道路、河川、街路、公園などの維持管理、整備などに関する経費
- 教育費** 小中学校、生涯学習、文化、芸術、スポーツなどに関する経費
- 衛生費** 健康増進、母子保健、疾病予防、廃棄物処理などに関する経費
- 商工費** 商工業・観光の振興に関する経費
- その他** 議会費、労働費、農林水産業費、消防費、災害復旧費など



特別会計 一般会計とは別に、独立して経理を行う会計です。

国民健康保険	81億6,200万円	(-5.0%)
介護保険	78億9,500万円	(1.3%)
後期高齢者医療	17億8,100万円	(1.3%)

178億3,800万円 (-1.7%)

企業会計 民間企業と同様に、利用料金収入などで運営する会計です。

水道事業	33億5,900万円	(6.3%)
病院事業	114億5,800万円	(-1.0%)
公設地方卸売市場事業	6億3,800万円	(-79.0%)
港湾整備事業	4億4,800万円	(8.0%)
下水道事業	52億3,500万円	(3.5%)

211億3,800万円 (-9.2%)